

2学期を終えて

校長 西川 和利



終業式を迎えました。今学期は台風の影響を受けることもなく、計画した教育活動は、ほぼ予定通り実施することができました。これも保護者の皆様、子どもたちを毎日見守っていただいております地域の皆様の温かいご支援ご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

さて、先日、埼玉県警察本部の方から「非行少年少女を生まない環境作りを目指して」と題した講演を聞く機会がありました。非行少年の特性として、他者への共感性やコミュニケーション力、感情をコントロールする力の不足、信頼関係が作れない、問題解決の選択肢が少なく物事を多角的に考える能力が乏しいということがあるそうです。さらに、自然体験や直接体験も少なく、山遊びや地域清掃への参加、日の出を見る、近所の人への挨拶などは、差が大きく、こうした体験は、脳の発達にとっても必要で、成長期に体を動かさないと心身の発達に大きな影響を及ぼすとのことでした。そして、仲間や指導者に支えられながら様々な困難に立ち向かう中で、社会性をはぐくみ、問題を解決しようとする意欲や力を育て、解決の選択肢を増やしていくことが大切であると話されました。また、非行少年は勉強や遊びに打ち込めず充実した生活感が不足していることから、子どもたちが好きなことに打ち込める環境を作っていくこと。そして、野球の三振を例に上げ、三振は失敗であるけれども三振をした後に何を感じどう解釈するか、失敗を努力に結び付け、次の挑戦につなげていくことが肝要で、大人は子どもがもっている自分の力に気付かせ、その力で自分の課題を解決していけるように子どもを見守り自信がもてるように育てていくことが大切であると話されました。ともすると大人が良かれと思ってしたことが、逆に先回りし過ぎて、子どもの意欲を奪ってしまい、育つチャンスを逃してしまっていることがあるかもしれません。そこを見極める目をもつことの大切さを改めて考えさせられました。

今学期は運動会をはじめ、あおぎりスマイルまつりや校内音楽会、マラソン大会、校外学習など多くの行事等がありました。行事以外でも自分から進んで意欲的に取り組む子どもたちの姿を様々な場面で目にしました。子どもたちは一つのことをやりとげるための準備や練習の過程を通して課題を乗り越え、また、やりとげた達成感や充実感を味わうことを通して自分に自信をもち、いろいろなことを学び吸収しながら学校生活を送りました。心身の成長にたくましささえ感じます。育つチャンスに進んでチャレンジした結果です。2学期を振り返り、お子様の努力や頑張りを認め励ましていただき、来学期につなげていただけたらと思います。

最後になりましたが、来年も変わらぬご支援ご協力を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。皆様どうぞよい年をお迎えください。

日課変更（1月当初）について

- 7日(木)は、全学年が短縮4時間（給食なし）です。通学班で下校します。下校時刻は12時05分です。
- 8日(金)は、全学年が短縮4時間（給食あり）です。下校時刻は13時30分です。
- 16日(土)は、学校公開日です。全学年が短縮3時間授業（給食なし）です。下校時刻は11時50分です。
この土曜授業の振替休日はありません。